

「タイのお祭り」

辻本 浩一郎

2023 年 4 月、新型コロナウイルスが収束したタイでは、「ソンクラン水かけ祭り」が 2019 年以來 4 年ぶりにタイ全土で開催されました。

<ソンクラン>

ソンクランとはタイの旧正月を祝う伝統的な正月行事です。現在は政府により、4 月 13 日から 15 日がソンクラン休暇として祝日に指定されています。元來ソンクランは、仏像や仏塔、年長者などの手に水を掛けてお浄めをするという伝統的な風習として受け継がれてきました。近年ではそれが転じ、街中で見知らぬ人同士も水を掛け合う「水かけ祭り」として世界的に知られるようになり、タイ全土において大通りや商業施設で大々的にイベントが開催されています。タイ各地で水鉄砲を持った人々が街を闊歩し、全身ずぶ濡れになるまで水を掛け合う非常にユニークなお祭りです。



【バンコクの大型デパート「セントラル・ワールド」前の水かけ祭りの様子】

ソンクランは、長期休暇を利用して国内外へ旅行に出掛けたり、里帰りをする期間でもあるため人々の移動が大変活発になります。タイ主要銀行であるカシコン銀行・カシコンリサーチセンターの発表によると、2023 年ソンクラン期間の国内観光経済効果は 230 億バーツ（約 915 億円）で、国内旅行客は 510 万人と推計されています。またタイ国政府観光庁の発表によれば外国人観光客による経済効果は 50.3 億バーツ（約 200 億円）、往来する外国人観光客は 30.5 万人と推計され、ソンクランが経済的に重要な立ち位置であることがわかります。

今後、さまざまなイベントが平年通りに開催され、経済的な刺激を与えていくことが期待されています。そこで、ソンクラン水かけ祭り以外のタイの有名な祭りをいくつか簡単にご紹介します。

<ベジタリアン・フェスティバル>

●開催時期 9～10 月ごろ

タイ全土で毎年旧暦の 9 月 1 日から始まり、主に中華系の人々が 9 日間にわたってお肉などの動物性食品やアルコール、香りの強い野菜を避け、菜食を基本とした精進料理中心の生活をする事で自身の身を清め、神様や先祖に祈りを捧げ、悪事をお祓いするためのお祭りです。

2022 年期間中におけるバンコク市内における経済効果は 32 億バーツ（約 127 億円）と推計されています（カシコンリサーチセンター調査）。

<ロイクラトン>

●開催時期 11 月ごろ

ロイクラトンは古くから続いている風習で、灯籠（クラトン）を川に流し神への信仰や人と川の深い関わりを現す「水の祭典」です。

2022 年の期間中の経済効果は 96.8 億バーツ（約 385 億円）と推計されています（タイ商工会議所大学調査）。

<アユタヤ世界遺産祭り>

●開催時期 12～1 月ごろ

アユタヤ遺跡群が世界文化遺産に指定されたことをきっかけに始まりました。遺跡群のライトアップや花火、歴史劇などさまざまなイベントが期間中に実施されます。